

美又温泉国民保養センター 利用・運営実績 (令和4年度指定管理施設モニタリングレポートより)

資料 No.2

施設概要

施設名	美又温泉国民保養センター				
所在地	島根県浜田市金城町追原32番地1				
開設年月	昭和44年10月(昭和44年10月築)				
設置条例	浜田市美又温泉国民保養センター条例				
設置目的	国民の保養及び健康の増進、余暇の効果的な活用と健全なレクリエーション活動の推進を図り、もって住民福祉の向上及び地域産業経済の振興に資する。				
施設概要	敷地面積	5,268㎡	延床面積	2,916㎡	
	施設内容	宿泊施設、温泉入浴施設、食堂、売店、駐車場(50台)他			
	事業内容	日帰り入浴、レストラン、宿泊など			
公共施設再配置実施計画の方針			民間譲渡		

運営状況

項目	R2実績	R3実績	R4計画	R4実績	前年度対比	計画対比
開館日数(日)	268日	271日	313日	311日	114.8%	99.4%
開館時間(時間)	10:00~20:00	10:00~20:00	10:00~20:00	10:00~20:00	-	-

利用実績

項目		R2実績	R3実績	R4計画	R4実績	前年度対比	計画対比
のべ利用者数(人)	合計	33,286	38,910	45,000	55,673	143.1%	123.7%
	入館者数	32,786	38,654	44,700	55,188	142.8%	123.5%
	宿泊者数	500	256	300	485	189.5%	161.7%

収入

項目		R2実績	R3実績	R4計画	R4実績	前年度対比	計画対比
利用料金収入	室料収入	4,630,585	3,027,728	3,000,000	3,269,900	108.0%	109.0%
	飲料収入	8,547,462	7,945,952	6,000,000	6,687,248	84.2%	111.5%
	入浴収入	14,580,790	13,708,620	23,000,000	25,788,650	188.1%	112.1%
	家族風呂収入	2,855,000	3,509,090	3,800,000	4,100,000	116.8%	107.9%
	有料休憩収入	534,165	597,045	1,000,000	1,181,340	197.9%	118.1%
	物販(手数料)収入	6,764,155	7,022,013	8,000,000	10,560,045	150.4%	132.0%
その他収入	指定管理料	-	-	3,004,000	3,004,000	-	100.0%
	補助金等	5,639,146	1,700,344	1,500,000	1,875,000	110.3%	125.0%
	休業補償等	2,705,184	1,350,343	-	-	-	-
収入計(A)		46,256,487	38,861,135	49,304,000	56,466,183	145.3%	114.5%

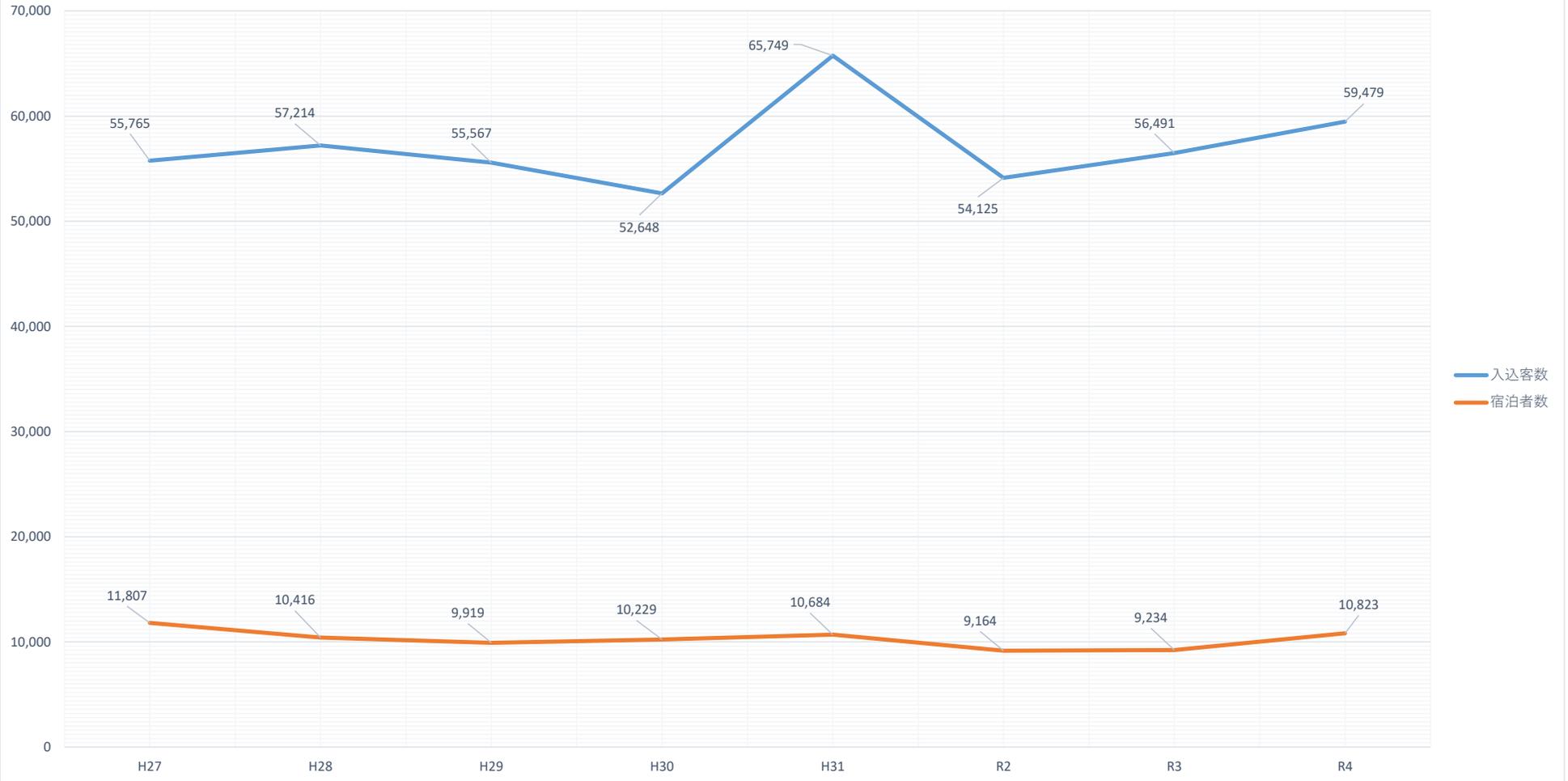
支出

項目		R2実績	R3実績	R4計画	R4実績	前年度対比	計画対比
【人件費】	人件費	26,039,375	11,805,364	12,000,000	15,717,386	133.1%	131.0%
【管理費】	売上原価	11,414,961	5,560,085	7,000,000	9,181,632	165.1%	131.2%
	諸経費	1,738,540	2,105,625	2,100,000	2,737,314	130.0%	130.3%
	販売手数料	507,732	14,526	20,000	19,093	131.4%	95.5%
	公課費 入湯税	62,000	91,600	80,000	73,520	80.3%	91.9%
	公課費 消費税	2,822,383	1,976,131	2,500,000	2,821,381	142.8%	112.9%
	光熱水費	7,998,492	9,647,054	8,000,000	11,426,358	118.4%	142.8%
	燃料費	1,926,089	3,463,186	3,000,000	2,511,376	72.5%	83.7%
	使用料	148,203	108,696	100,000	47,404	43.6%	47.4%
	委託費	2,733,861	2,934,330	3,000,000	3,814,280	130.0%	127.1%
	修繕費	1,467,310	2,534,735	1,500,000	1,554,803	61.3%	103.7%
	需用費	1,302,383	1,426,918	1,500,000	2,213,400	155.1%	147.6%
	手数料	272,373	224,108	400,000	294,475	131.4%	73.6%
	情報通信料	1,787,867	775,810	800,000	783,451	101.0%	97.9%
支出計(B)		60,221,569	42,668,168	42,000,000	53,195,873	124.7%	126.7%

収支差引(A-B)	-13,965,082	-3,807,033	7,304,000	3,270,310	185.9%	44.8%
-----------	-------------	------------	-----------	-----------	--------	-------

参照 : https://www.city.hamada.shimane.jp/www/contents/1698714245571/simple/22_mimatakokuminhoyou_c.pdf

美又温泉利用客数の推移（平成27年～令和4年）
（観光動態調査より）



	H9	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
入込客数	124,652	55,959	56,864	55,567	52,648	65,749	54,125	56,491	59,479
宿泊者数		11,807	10,416	9,919	10,229	10,684	9,164	9,234	10,823

研究成果報告書 美又温泉成分分析

山口東京理科大学 工学部 応用化学科
浅野 比



調査目的

美又温泉の効能を科学的に明らかにすることを目的とする。

メタケイ酸・・・肌の角質形成・保湿に効果がある。
メタケイ酸をより効果的に利用するには、pHが高い方が有利と考えられる。

各地の温泉水中の、

○ メタケイ酸濃度

○ pH

に関して調査を行い、美又温泉水と比較する。



メタケイ酸の効能 -角質膜形成能-

角化

・・・皮膚のバリア機能

角質細胞

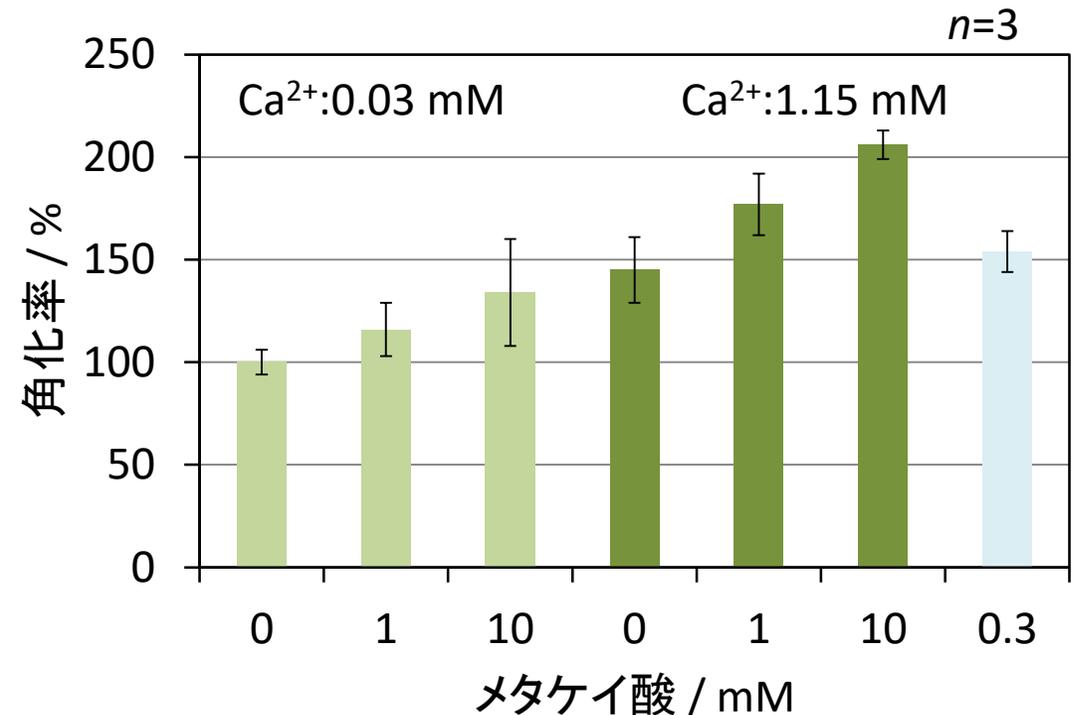
脂質層

体内からの水分蒸散の防止・・・保湿効果

角質膜形成能

角化を促す成分として

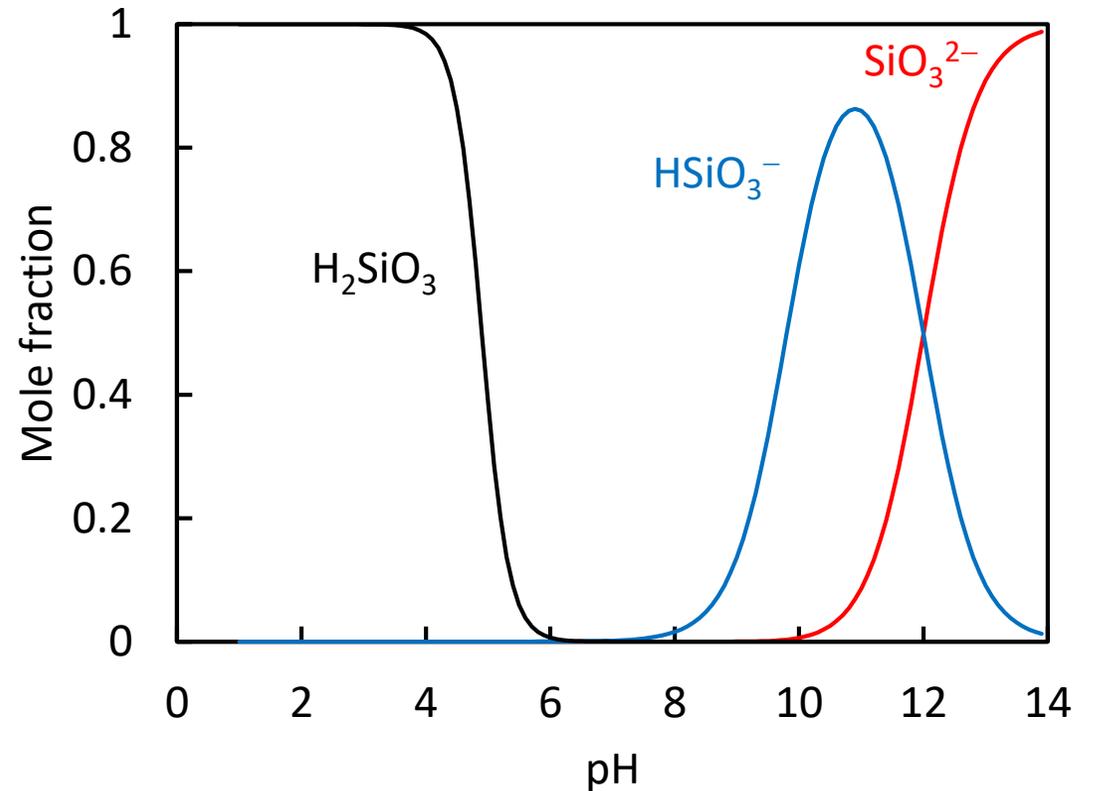
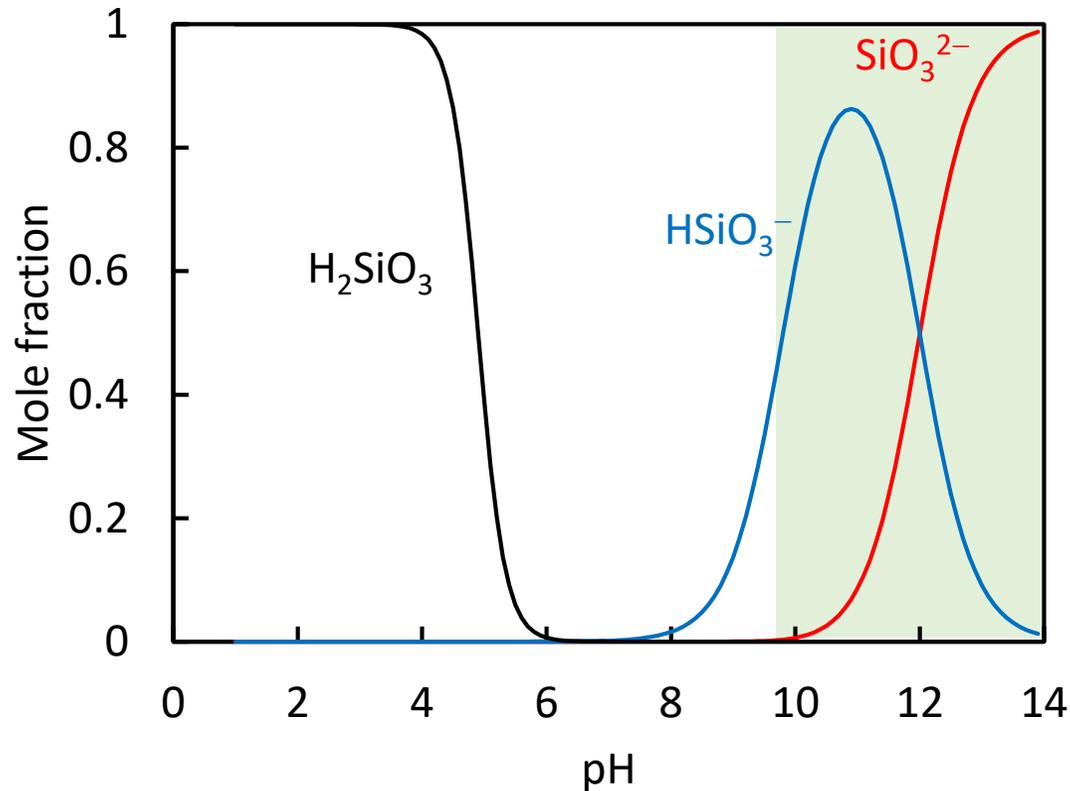
・・・**メタケイ酸**が重要



井上紳太郎:皮膚に有用な温泉水成分を探る, (2003) 12.

メタケイ酸が角質膜形成能を有し、保湿効果を促す働きがある

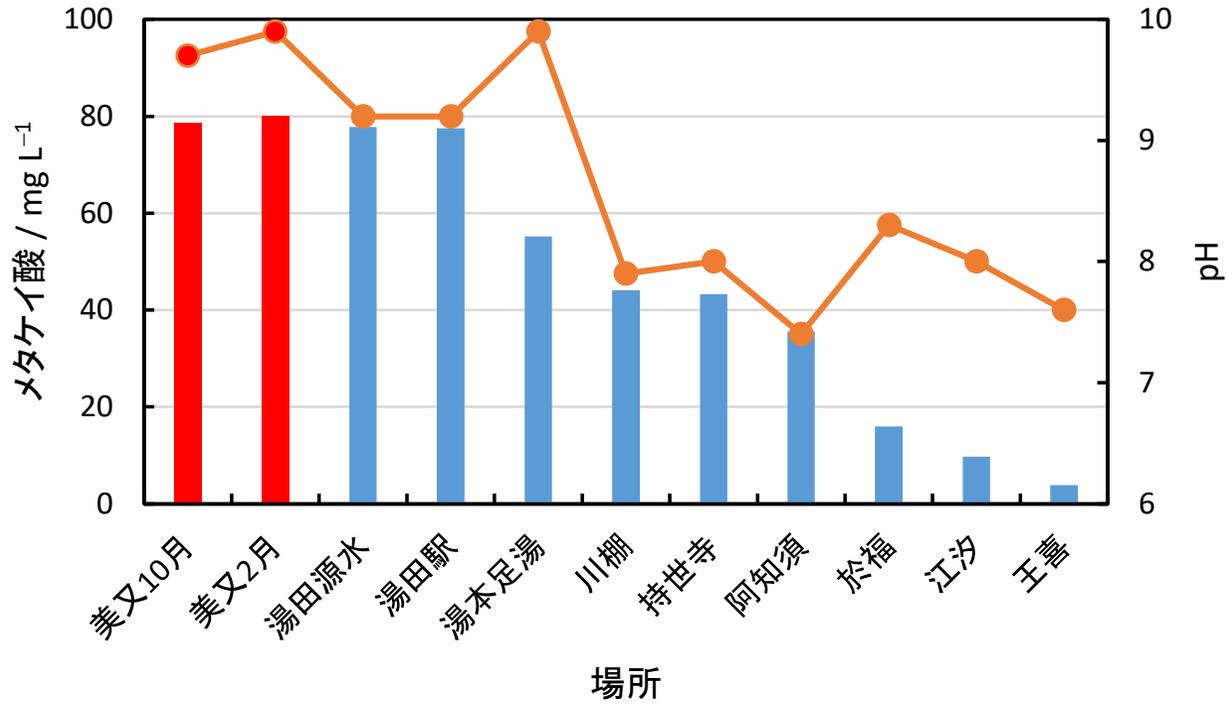
メタケイ酸存在比のpH依存性



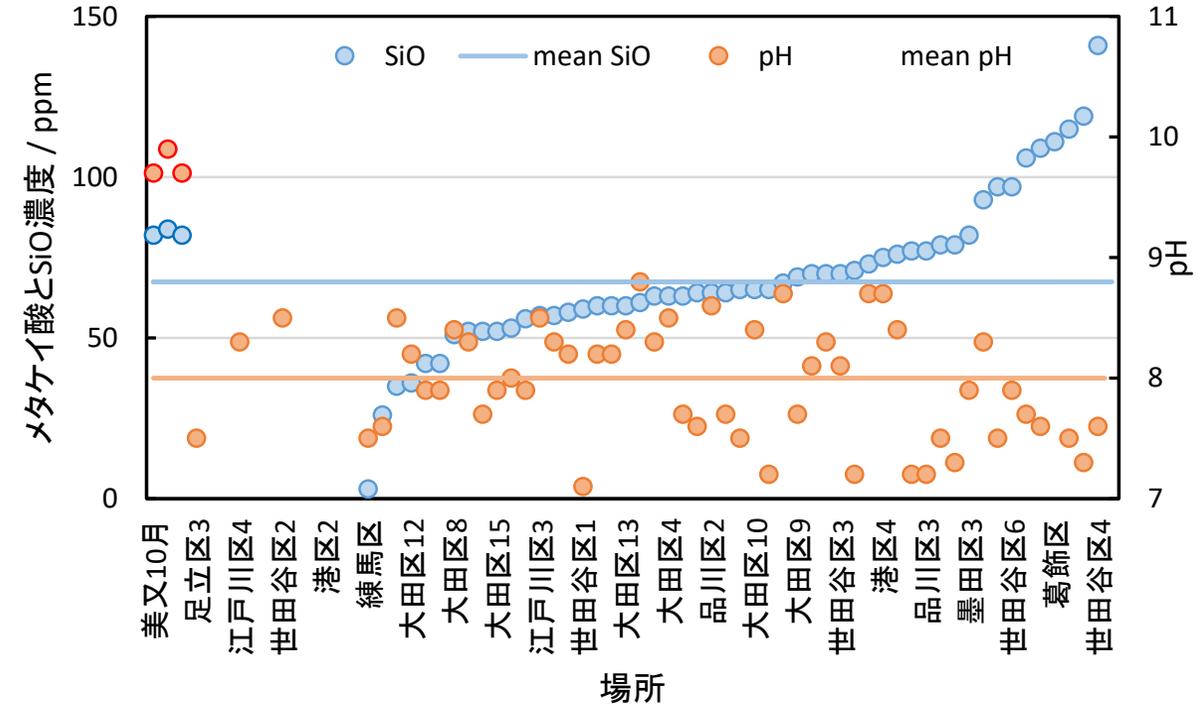
**pHが高い方が解離（イオン化）しているメタケイ酸が多い。
メタケイ酸が解離している方が、より効能が高いと考えられる。**

各温泉水中のメタケイ酸濃度

山口県内の温泉水との比較



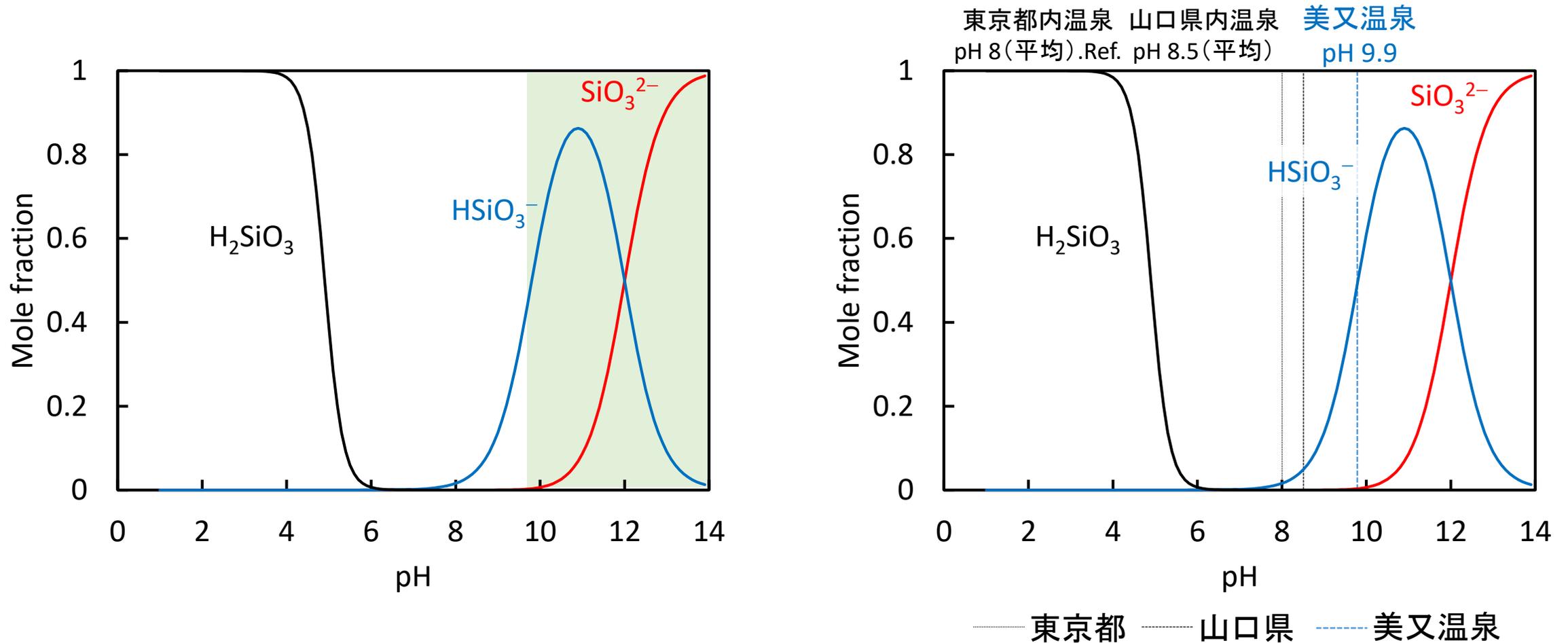
参考：東京都内の温泉水との比較



前田ら, 日温気物医誌, 74 (2011) 246.

美又温泉はメタケイ酸も多く, pHも高い

メタケイ酸存在比のpH依存性



美又温泉は山口県内や東京都(文献値)の温泉水と比較してpHが高く、
解離しているメタケイ酸も多い。

日本三大美人の湯

湯の川温泉(島根県)
龍神温泉(和歌山県)
川中温泉(群馬県)

美肌効果に有効な成分
○メタケイ酸濃度の比較
○pHの比較

湯の川温泉、龍神温泉と川中温泉および近隣温泉について成分分析を行った。



日本三大美肌の湯

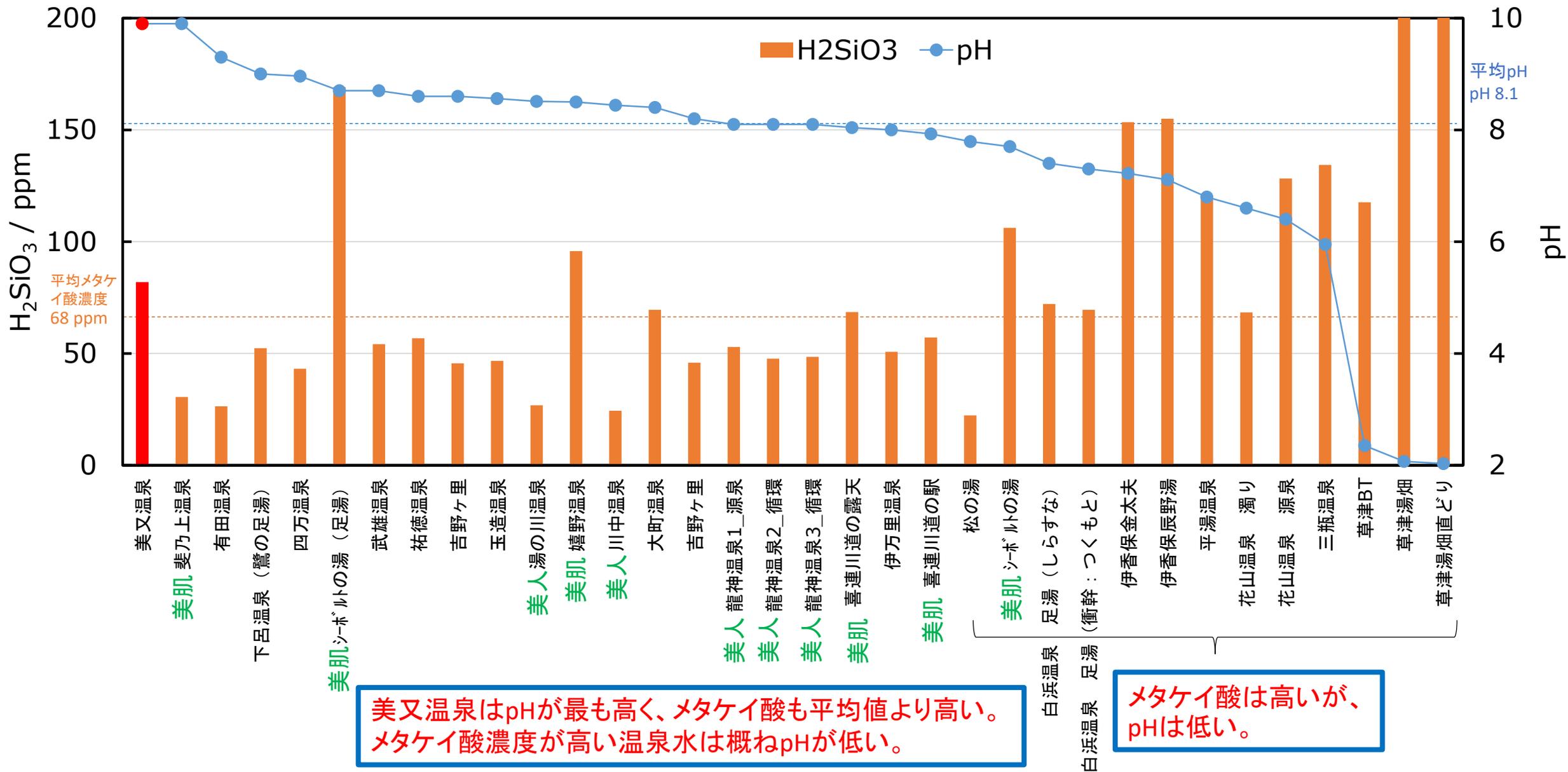
斐乃上温泉(島根県仁多郡)
嬉野温泉(佐賀県)
喜連川温泉(栃木県)

美肌効果に有効な成分
○メタケイ酸濃度の比較
○pHの比較

斐乃上温泉、嬉野温泉と喜連川温泉および近隣温泉について成分分析を行った。



各温泉水のメタケイ酸濃度とpH



美又温泉と美人の湯、美肌の湯の比較

	温泉	pH	H ₂ SiO ₃ /ppm
	美又温泉(島根)	9.9	81.9
美人の湯	湯の川温泉(島根)	8.5	26.8
	川中温泉(群馬)	8.4	24.4
	龍神温泉(和歌山)	8.1	52.9
美肌の湯	斐乃上温泉(島根)	9.9	30.5
	嬉野温泉(佐賀)	8.7	169
	喜連川温泉(栃木)	8.0	68.5

美又温泉は美人の湯(湯の川、川中、龍神温泉)と比較して、メタケイ酸が多く、pHも高い。美肌の湯と比較して、美又温泉はpHが高い。美又温泉のメタケイ酸は嬉野温泉よりも低いが、斐乃上、喜連川温泉より高い。

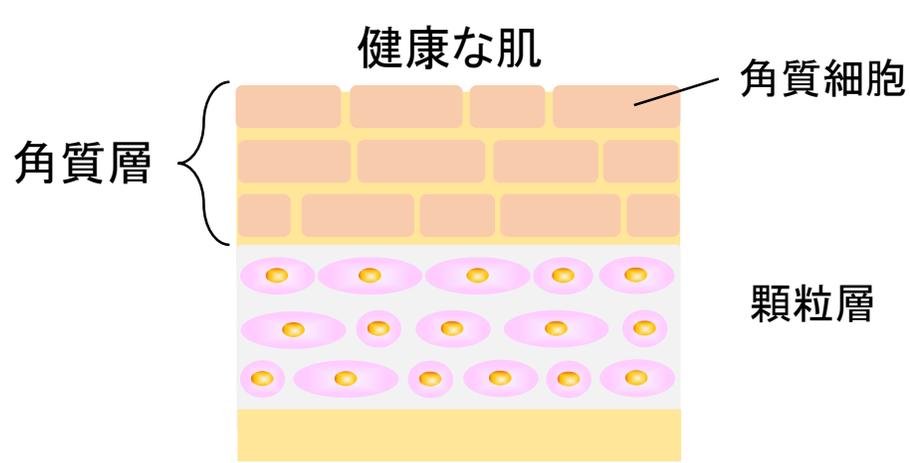
美又温泉と美人の湯、美肌の湯

メタケイ酸とpH

 50 mg/kg



美又温泉美肌のメカニズム



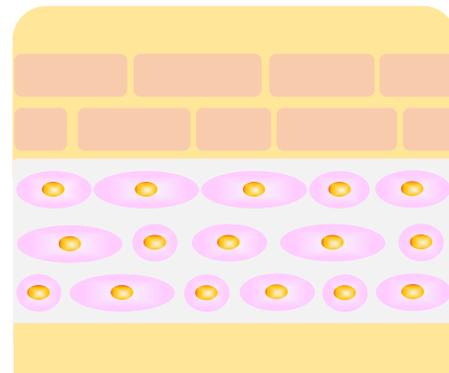
荒れた肌

美又温泉入浴



アルカリ性成分

古い角質の除去

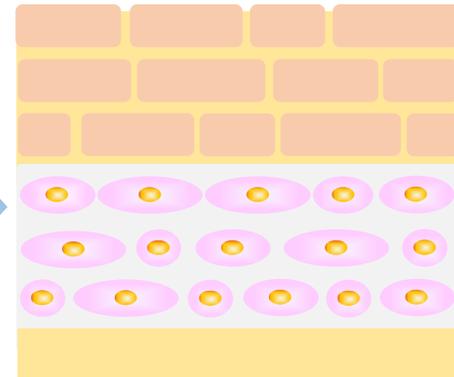


美又温泉入浴



メタケイ酸

新しい角質の再生



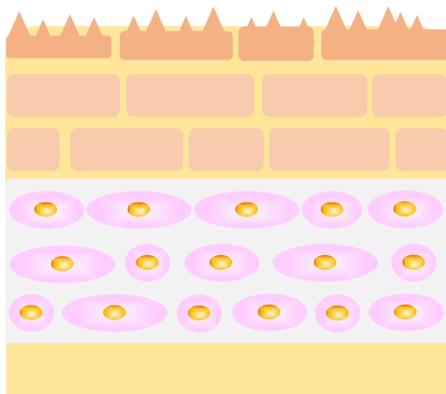
調査研究のまとめ

- 高いpHにおいて、イオン化した保湿効果のあるメタケイ酸が支配的となり、メタケイ酸による肌への効果の向上が期待される。
- 美又温泉水は他の温泉水と比較して、メタケイ酸濃度が高く、pHは最も高い(極めて高い)ことが明らかとなった。
- 美又温泉水は日本三大美人の湯である湯の川温泉、川中温泉および龍神温泉と比較して、メタケイ酸濃度およびpHは高い値を示した。
- 美又温泉水は日本三大美肌の湯である喜連川温泉と龍神温泉と比較して、高いpHを示した。(斐乃上温泉は同pH値)
- 高いpHによる古い角質の除去とメタケイ酸による新しい角質形成による相乗効果で肌への効能が促進されているものと考えられる。

結論

美又温泉は肌の角化・保湿に効果のあるメタケイ酸を多く含んでおり、pHも高いことからメタケイ酸が効果的に作用すると考えられます。したがって、美又温泉は美しさが^{ふた}双たびよみがえる、至高の“肌再生の湯”と言えます。

荒れた肌

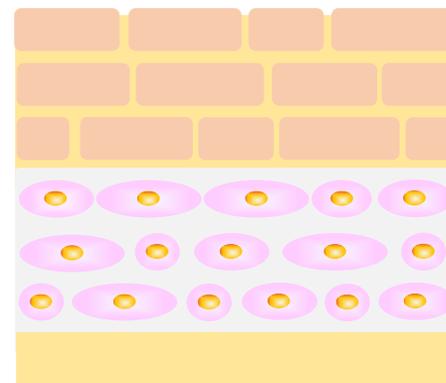


美又温泉入浴



メタケイ酸
アルカリ性成分

新しい角質の再生



メタケイ酸の平衡 | メタケイ酸に関する化学種へのpHの影響

メタケイ酸の平衡は(1)~(3)式のように表される。



(2)および(3)式に対応するそれぞれの平衡定数 K_{a1} および K_{a2} は、

$$K_{a1} = \frac{[\text{H}^+][\text{HSiO}_3^-]}{[\text{H}_2\text{SiO}_3]} \quad (4)$$

$$K_{a2} = \frac{[\text{H}^+][\text{SiO}_3^{2-}]}{[\text{HSiO}_3^-]} \quad (5).$$

また、(3)式では、

$$\frac{[\text{H}^+]^2[\text{SiO}_3^{2-}]}{[\text{H}_2\text{SiO}_3]} = K_{a1}K_{a2} \quad (6)$$

H_2SiO_3 に関する化学種(イオンも含む)の濃度を $C_{\text{H}_2\text{SiO}_3}$ とすると、

$$C_{\text{H}_2\text{SiO}_3} = [\text{H}_2\text{SiO}_3] + [\text{HSiO}_3^-] + [\text{SiO}_3^{2-}] \quad (7).$$

(7)式に(4)および(5)式を代入し、 $[\text{H}_2\text{SiO}_3]$ 、 $[\text{HSiO}_3^-]$ を消去すると、

$$[\text{SiO}_3^{2-}] = \frac{K_{a1}K_{a2}C_{\text{H}_2\text{SiO}_3}}{[\text{H}^+]^2 + K_{a1}[\text{H}^+] + K_{a1}K_{a2}} \quad (8),$$

同様に、 $[\text{H}_2\text{SiO}_3]$ および $[\text{HSiO}_3^-]$ のイオンについても整理すると、

$$[\text{HSiO}_3^-] = \frac{K_{a1}C_{\text{H}_2\text{SiO}_3}[\text{H}^+]}{[\text{H}^+]^2 + K_{a1}[\text{H}^+] + K_{a1}K_{a2}} \quad (9),$$

$$[\text{H}_2\text{SiO}_3] = \frac{C_{\text{H}_2\text{SiO}_3}[\text{H}^+]^2}{[\text{H}^+]^2 + K_{a1}[\text{H}^+] + K_{a1}K_{a2}} \quad (10).$$

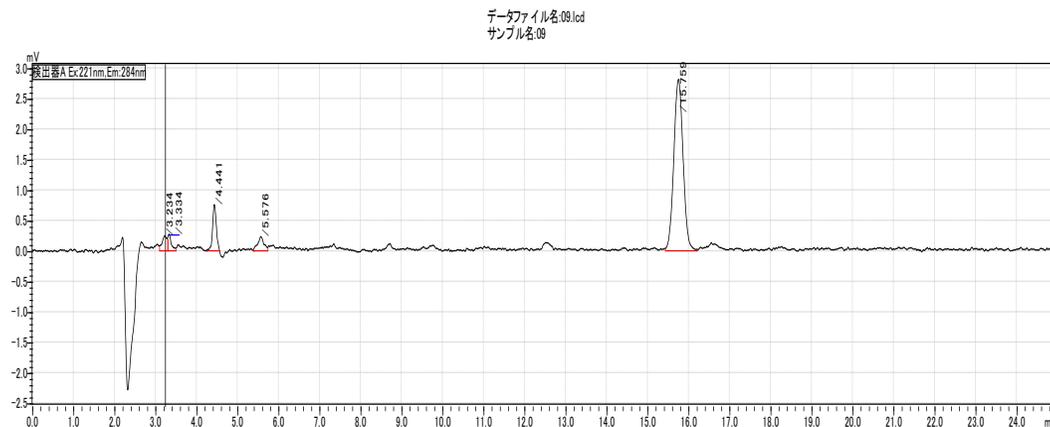
HPLCによる石鹼様成分（界面活性材）の分析

肌のぬるぬる感に関し、石鹼様の成分の生成によるものと考え、HPLCにより、温泉水中の界面活性剤について分析を行った。その結果、有意な成分分析結果は得られなかった。

手湯を行った後の温泉水を分析し、石鹼様成分の分析が生成しているかどうか確認することによって、ぬるぬる感が検証できるものと考えられる。



高速液体クロマトグラフ(島津製作所 LC-10)
浜田技術センターで保管する機器



石鹼様成分の分析(界面活性剤)

温泉療法専門医から見た美又温泉

1、泉質について

はじめに、皆さま、この一年間、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めていただき、お疲れ様でした。スペースシャトルから地球に戻った日本人の宇宙飛行士が最初にしたいことは何かと尋ねられ、「ゆっくりと温泉に入って、日本食を食べたい」と答えたとの話がありますが、私たちの気持ちは、まさにこの宇宙飛行士の気持ちと同じではないでしょうか。

さて、いわゆる温泉療法は単に温泉に入浴するだけでなく、温泉地の自然環境を利用して、地方の文化、季節の食べ物を食べることによる精神的、肉体的なリフレッシュを目指すものです。山陰の新鮮な魚介類に恵まれ、美肌効果が高いと言われている、美又温泉をご紹介します。

日本には火山が多く、その恵みとして各地に温泉地があります。その温泉の中には、アルカリ性の泉質から酸性の泉質まで様々です。その中で、平安時代の996年に清少納言は、「枕草子」の「ものづくし」の段に「湯は、ななくりの湯(榊原温泉)、玉造の湯、有馬の湯」と表しています。山陰地方には、この玉造温泉をはじめとして、城崎温泉、三朝温泉、皆生温泉等があります。一連の山陰地方の温泉地の中に、関西圏の大都市から離れた島根県の浜田市に、これらの泉質と同等かそれ以上のアルカリ性で美肌効果が高いと言われている温泉が湧いているのをご存知でしょうか。

中国にある華清池は楊貴妃がつかったという伝承がある温泉の一つです。唐の詩人、白居易はこの華清池の泉質を温泉水滑(温泉の水はなめらかにして…)と表現しており、滑らかな泉質(43℃、pH7.9、単純放射能泉)を高く評価しています。アルカリ性の泉質は皮膚の表面の角質層を形成する老化したタンパク質を溶かすことにより、滑らかな湯上り感が得られます。また、皮膚の新陳代謝がうながされることにより新しい角質層が形成され、皮膚が美しくなります。

アルカリ性の泉質の美又温泉(41.6℃、pH9.9、アルカリ性単純温泉)には、アルカリ性の条件下で水によく溶ける性質をもつメタケイ酸が、比較的高濃度(81.9ppm)に溶けています。メタケイ酸は浴後に皮膚の表面を被い、出来た被膜は皮膚からの水分の蒸発を抑えることから、保湿効果が得られます。また、皮膚からの水分の蒸発が抑えられることにより皮膚の乾燥が軽減され、冬季の皮膚の掻痒感(かゆみ)が和らげられます。

皮膚の新陳代謝を促進するアルカリ性の美又温泉を一度、試してみたいかがでしょうか。

2、入浴法について

一般的な家庭での入浴、温泉地での入浴にかかわらず、入浴時に共通した注意点を挙げます。

心臓・脳に負担をかけない入浴法

- 1) 寒冷期間は更衣室・浴室を浴前に暖める(15℃以上)、冬季には小型のホットカーベットを活用してみてください。
- 2) 浴温度は38℃～41℃、高くても42℃までにして下さい。
- 3) 掛け湯をしてからゆっくりと入浴しましょう。はじめに下半身、腰、その後で心臓に近い所にかけて湯をして下さい。
- 4) 半身浴で心臓の負担を減らして下さい。お湯の量は少なめにするのが健康に良いとされています。へそから乳の辺りまでにとどめてみてください。
- 5) 入浴時間は5分～7分程度、やや低めの38℃～40℃であれば10分程度が目安です。
- 6) 浴槽からの立ち上がりは、一旦、腰掛けるなど、ゆっくりとします。
- 7) 疲労、脱水気味の時には微温湯の短時間とします。
- 8) 運動・食事とは1時間程空けて下さい。
- 9) 入浴後にコップ1～2杯の水分摂取を心がけましょう。
- 10) 浴後は30分ほど安静にして下さい。

さらに、美又温泉を利用される場合には、次の注意点を追加します。

- 11) 泉質がアルカリ性のため、入浴時にアルカリ性の石鹸の使用は最小限をおすすめします。
- 12) 冬季の露天風呂の場合には、外気温が低いと、体の芯まで温まるのに時間がかかり、ついつい長湯になってしまいます。時計を見ながら長湯に注意してください。
- 13) 早朝、一人で入浴するのは避けて、お連れの方と一緒に入浴することをお勧めします。誰もいない時には、誰か他の人が入りに来るまで待つのも一つの方法です。気分が悪くなった時に、いち早く気付いて、助けってもらうことも頭のすみに留めておきましょう。

全身浴



半身浴



3. 温泉療法における「日帰り入浴」と「連泊入浴」の効果の違いについて

温泉療法(Balnelogy)は古く、ギリシャ時代よりヨーロッパで医学として発達した経緯があります。ヨーロッパ諸国では一般的に3週間の温泉地での療養を行った場合に、健康保険で治療費・宿泊費・交通費が支払われます。温泉療法の期間が3週間と限られている理由として、3週間以上温泉療法を続けても、徐々に体が慣れてきて温泉療法の効果がそれ以上得られなくなるとされています。我が国においても、江戸時代に、湯治は長くても1カ月間を目途にされていたようです。私が、真水から温めたお風呂と、温泉(温泉成分を含む食塩含有人工炭酸泉浴)との効果の違いを研究したところ、温泉に単回(1回だけ)入湯した即時効果は、「冷え症の改善」、「全身の血行促進感」、「全身の温まり感」において、改善が認められました。一方で、繰り返し(連続15回)の入湯、いわゆる「湯治」による慢性効果は「腰痛の改善」、「肩こりの改善」、「疲労回復感」で効果が認められました。この様に、温泉療法の効果を最大限に引き出すためには、温泉地に来られる方々の症状に合わせて、宿泊期間を加減する必要があります。1泊2日でも気分転換には十分効果が得られますが、大病をした直後、抗癌剤治療の後などには、体調に合わせた入湯の仕方を試してみてください。連泊入浴をこのまま当てはめることは難しいかもしれませんが、少しの間、新型コロナウイルスとの戦いで疲れた心身を湯治の気分で癒すのはいかがですか。

4. ペットボトル入り温泉水によるご家庭での体験について

美又温泉が気に入って、旅行先から温泉水を持ち帰る場合には、重たいので、500mL~1L程度のお持ち帰りになると思います。旅行者の移動手段によっては、宿泊した温泉旅館などから、18L入りのポリタンクに入れて、宅急便で配達していただくのも将来的には可能性があります。

少量の温泉水を有効活用するには、新型コロナウイルスの感染予防に用いている、アルコールスプレーの様な霧吹きを用いるのが手軽です。100円ショップで霧吹きのノズルだけが売られています。この霧吹きのノズルを旅館の売店で販売するのも良いかもしれません。

500mLのペットボトルに温泉水を入れて、霧吹きで手、足に試してみて、アレルギー反応等が現れないことを確認してから、顔に吹きかけてみましょう。化粧品と同じで、始めから顔に吹きかけてみるのはお勧めできません。また、アレルギー反応が出ないことを確認した後に、フェースパックシートに浸して、美容液の要領で用いることもできます。個人差がありますが、肌荒れ、ニキビ、アトピー性皮膚炎に効果があれば続けてみるのもよいかもしれません。抗生物質・ステロイドホルモン等が含まれている薬用のクリームと異なり、これらの薬用成分が含まれていない分、安全ですが、効果の発現には1~2週間はかかることが推測されます。手軽な感覚で試してみたいはいかがでしょうか。

温泉療法専門医 保崎 泰弘 
(広島通信病院 副院長兼第一内科部長)

温泉総選挙への取り組み

美又温泉は、2021 年度に開催された「温泉総選挙 2021（※）」において、うる肌部門に初めてエントリーし、部門全国第 1 位を獲得しました。

続く「温泉総選挙 2022」では、うる肌部門全国第 2 位と省庁賞の一つである環境大臣賞を獲得しました。環境大臣賞については、地域内において地元黒食材の生産～加工～旅館等での提供・販売を行う「地域まるごと 6 次産業化」の取組や、市内の観光・飲食事業者を集めてのおもてなしセミナーの開催など、温泉地の活性化に向け地域が一体となる取組を実施した点が評価されました。

そして、3 度目のエントリーとなった「温泉総選挙 2023」では、2 年ぶりとなるうる肌部門全国第 1 位と特別賞である「審査員特別賞」を受賞しました。審査員特別賞の受賞については、近隣の商圈地域に県外事務所を設置し、県内のみならず広域に渡る来訪機会の獲得に向けて、積極的な取組を実施していることなどが高く評価されたことによる受賞となりました。

温泉総選挙 2021 「うる肌部門」(23 か所エントリー)

第 1 位	美又温泉（島根）	19,563 票
第 2 位	秋川溪谷 瀬音の湯（東京）	17,129 票
第 3 位	菊池温泉（熊本）	9,802 票

温泉総選挙 2022 「うる肌部門」(25 か所エントリー)

第 1 位	秋川溪谷 瀬音の湯（東京）
第 2 位	美又温泉（島根）
第 3 位	しゃくなげの湯っこ五葉温泉（岩手）

※2022 年度より投票数が非公開となりました。

温泉総選挙 2023 「うる肌部門」(36 か所エントリー)

第 1 位	美又温泉（島根）
第 2 位	秋川溪谷 瀬音の湯（東京）
第 3 位	王丸温泉（福岡）

※温泉総選挙とは、温泉地の活性化プロジェクトを実施している「旅して日本プロジェクト」（企画・運営事務局：一般社団法人日本エンパワーメントコンソーシアム）が、5 省庁（環境省、内閣府、総務省、経済産業省、観光庁）の後援を受けて主催する、全国の温泉地からお気に入りの温泉地を応援することができる投票イベントです。

美肌観光推進事業について

浜田市には、温泉をはじめとする「美肌」に関連する資源、商品、体験メニュー等が多数あることから、令和4年度より「浜田市美肌観光推進事業」を立ち上げ、「美肌」というキーワードをもとにしたPRの実施や、美肌効果のエビデンスを加えた商品の開発補助などの取組みを行い、「美肌のまち浜田」としてブランド化を図りながら美肌観光を推進しています。

その柱が美又温泉となっており、近隣の観光農園や水族館などの観光施設と連携を図りながら、認知度向上に取り組んでおります。

●浜田市美肌観光推進事業の概要

(事業期間：令和4年度～令和6年度)

「温泉」、「食」、「遊び」、「コスメ」、「癒し」の5種類的美肌コンテンツの整備や美肌関連商品の開発補助等を行い、「美肌のまち浜田」としての面的なブランド化を図ります。令和4年度は美肌関連商品開発補助（美肌茶）やおもてなしセミナーの開催、浜田市美肌観光におけるロゴマーク・キャッチコピーの作成を行いました。

美肌浜田ロゴマーク



美肌のまち浜田ホームページ



(HP QRコード)



●令和5年度の主な取り組み

1. 美肌関連商品開発に対する補助

補助内容：費用の2/3補助、上限額50万円

2. おもてなしセミナーの実施

マナー接遇に精通した講師を招いて、美肌観光の中核となる旅館へのおもてなしやマナー、接遇等の直接指導や、美肌観光の担い出となる学生へ実演を交えたセミナーを実施しました。

3. インフルエンサーとコラボしたイベントの開催

美容やファッションに精通したインフルエンサーを美又温泉へ招き、ライブ配信型イベントを開催しました。イベントでは、インフルエンサーが美又温泉の魅力や美肌関連商品の情報発信を実施しました。

美又温泉地域景観づくり協定書

(目的)

第1条 この協定は、美又温泉地域の住民が主体的に協力しながら、「美又温泉地域の豊かな自然と暮らしを守り、魅力ある街並みをつくる」ことを目的とする。

(名称)

第2条 この協定は、「美又温泉地域景観づくり協定」(以下「協定」という)と称する。

(協定の締結)

第3条 この協定は、次に定める協定区域内の土地(道路、河川等公共の用に供する土地を除く)の所有者及び借地権者並びに建物および工作物の所有者の合意により締結する。(以下協定を締結したものを「協定者」という)

2 協定締結後に協定区域内において新たに土地の所有者又は建物および工作物の所有者となった者については、この協定が掲げる目的の同意を得て、適宜、協定者に加えるものとする。

(協定の区域)

第4条 この協定の対象とする区域(以下「協定区域」という)は、別表1に示す区域とする。

(景観形成に関する事項)

第5条 協定者は、協定区域内において商業施設及び住宅等を新築、増改築、改修を行う場合は、次の各号に定める事項に努めるものとする。

(1) 共通事項

- ・周辺の景観との調和に配慮した和の風情を景観まちづくりの基本とする。
- ・通り沿いや川沿いに面する修景に努め、建物や景観の連続性に配慮する。

(2) 建築物及び工作物(塀、門)に関すること

- ・できる限り自然素材を使用し、土壁や漆喰、木、瓦など和の意匠を基調とする。
- ・外壁は、周囲の景観と調和する落ち着いた色彩(別表2)を基調とする。
- ・屋根は、できる限り石州瓦を使用し、色彩については周囲の景観との調和に配慮する。
- ・玄関や窓の建具は木製又は茶か黒のアルミサッシとし、開口部前面にはできる

限り木製の格子を設ける。

- ・通りに面する敷地には、果樹や日本古来の樹種（別表3：参考）による街並みと調和した緑化に努める。

(3) 広告物に関すること

- ・看板及び広告物は必要最小限の大きさ及び設置個所数にとどめるとともに、建築物及び周辺の景観との調和に配慮する。

(4) その他

- ・空気調和設備及び物干し金物など極力目立たない位置に配慮する。やむを得ない場合は、屋根や竹囲いなどで周囲の景観との調和に努める。
- ・自動販売機は周辺建物と調和した素材で目隠しするか、景観に配慮した色彩とする。
- ・店舗などに設ける日除けテントは、極力設けないものとし、使用する場合は景観に配慮した色彩とする。
- ・電柱や電線を通り沿いや川沿いに面する場所に設置する場合は、できるだけ共同化し、色彩など景観に配慮する。
- ・防犯灯や屋外照明を設置する場合は、周囲の景観との調和に努める。

(景観の維持管理に関する事項)

第6条 協定者は、前条に規定する内容が保持されるよう維持管理に努めるものとする。

また、樹木や草花についても和を基調とした植栽を行い、良好な状態が保たれるよう、適正な管理に努める。

2 協定区域内の施設等（道路、水路、河川、公園など）の維持管理については、良好な状態に保たれるように、協定者が日常的な美化活動に努めるものとする。

(協定の有効期間)

第7条 協定の有効期間は、協定締結の日から5年間とする。

2 前項の有効期限は、期間満了の6か月前までに協定者の過半数の申し出が無いときは、さらに5年間更新するものとする。

(協定の運営に関すること)

第8条 この協定の運営に関する事務は、平成27年3月19日設立の「美又温泉地域の景観を考える会」（以下「景観を考える会」という）で行う。

2 前項の景観を考える会は、美又集落、美又温泉旅館組合の代表者で組織し、行政や美又湯気の里づくり委員会、NPO法人美又ゆめエイトからの意見を求めつつ運営を行う。

3 このほか運営に関して必要な事項は別に定めるものとする。

(協定の変更と廃止)

第9条 協定の内容を変更しようとするときは、協定者全員の合意によるものとする。

2 協定を廃止しようとするときは、協定者の過半数の合意によるものとする。

付 則

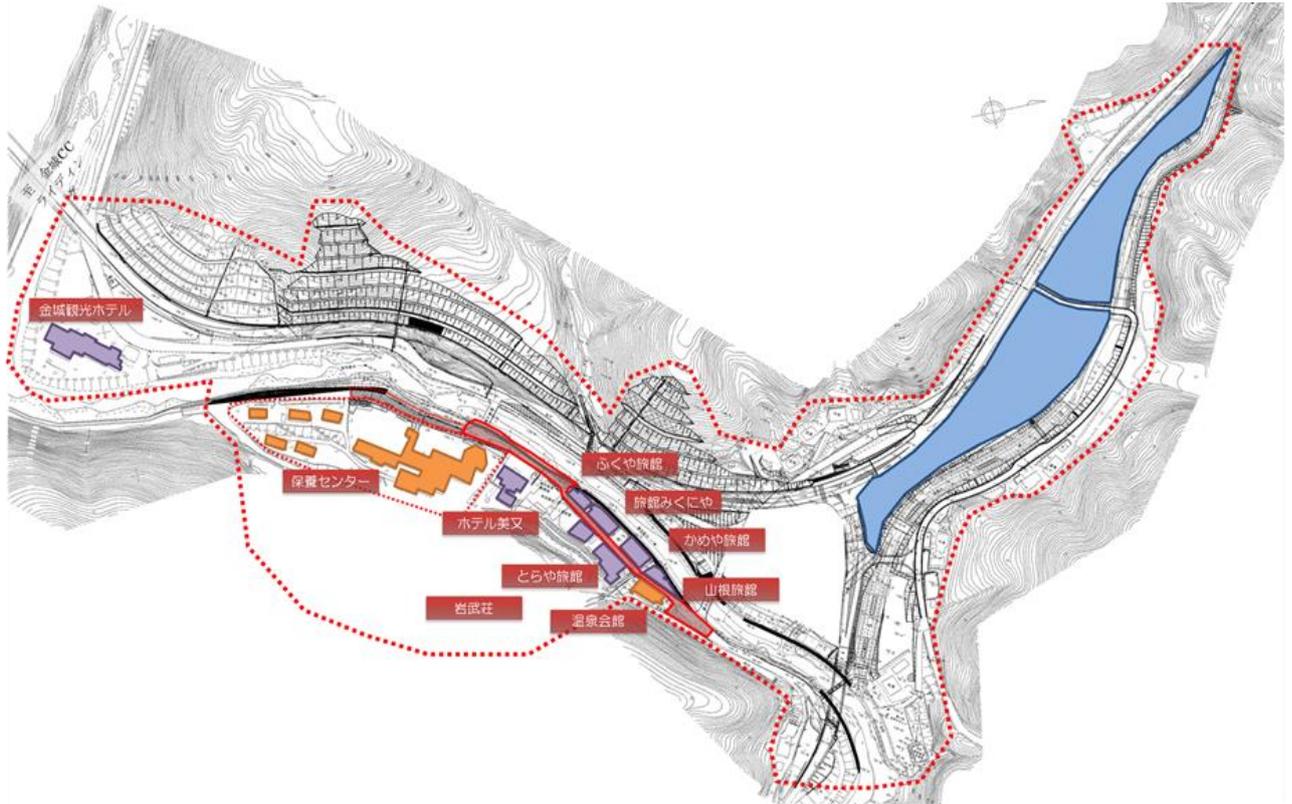
この協定に合意した証として、別紙合意書に署名捺印し、原本は景観を考える会の会長が保管し、その写しを協定者各自が保有するものとする。

平成 28 年 1 月 20 日

美又温泉地域の景観を考える会 会 長 藤 本 喬 士
(美又町内会長)

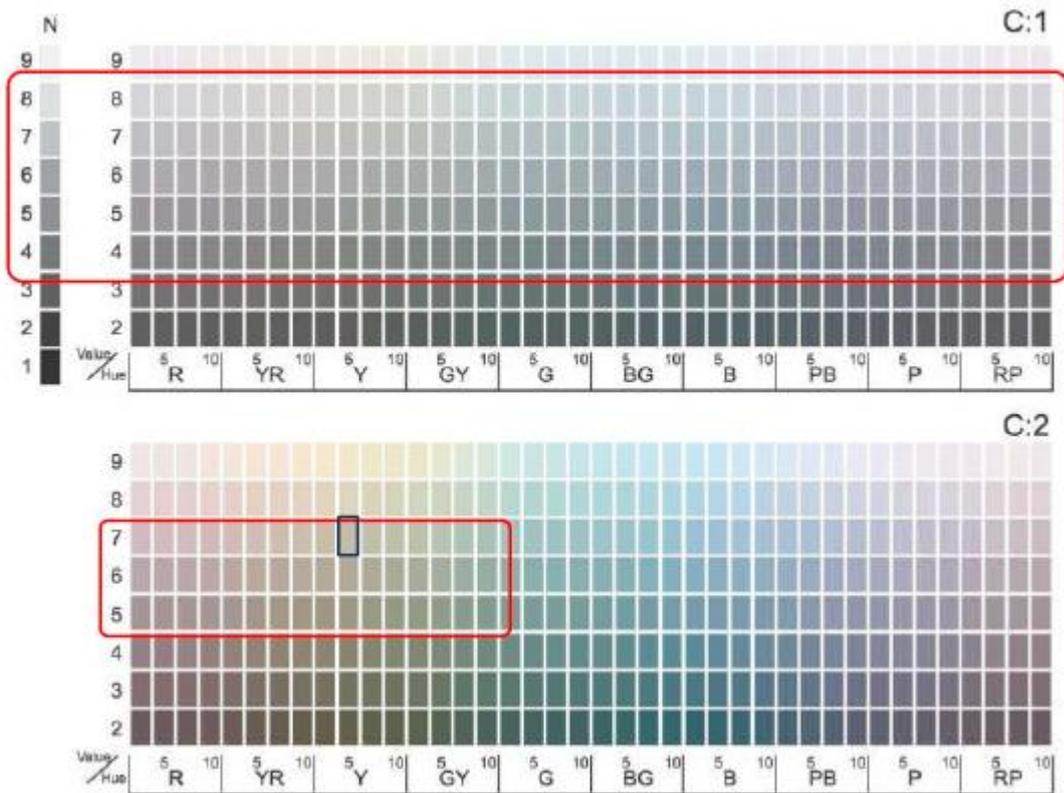
美又温泉旅館組合 組合長 横 田 雪 生

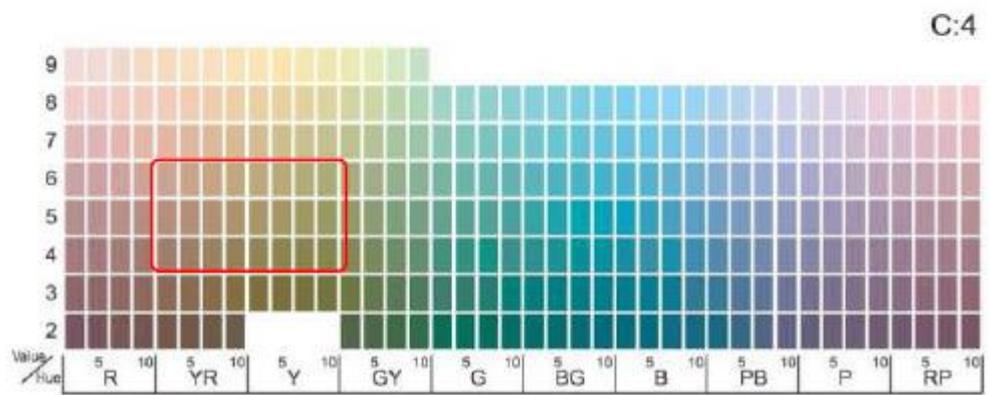
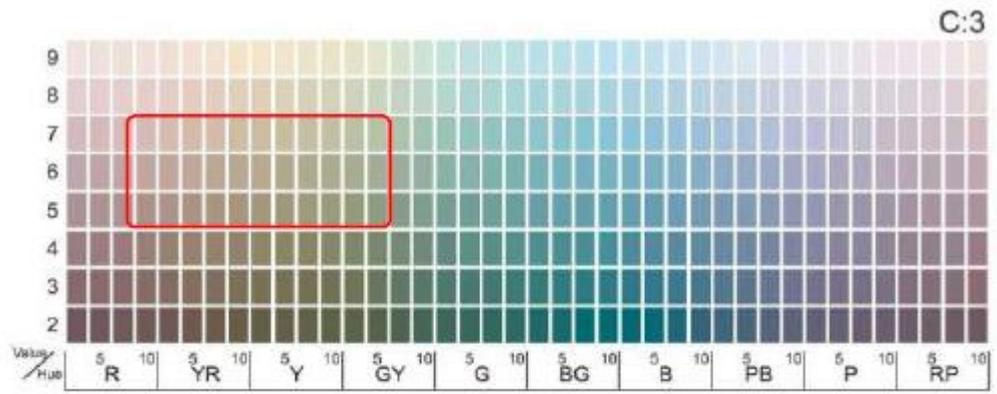
別表1 美又温泉地域景観づくり協定区域図



別表2 外壁（周囲の景観と調和する落ち着いた色彩）

例) マンセル値 5Y 7/2





別表3 果樹や日本古来の樹種（参考例）

名称	写真	名称	写真
いちじく		スズカケノキ	
びわ		カツラ	

<p>大山レンゲ</p>		<p>常緑ヤマボウシ</p>	
<p>朴の木</p>		<p>フウノキ</p>	
<p>桑の木</p>		<p>トクサ</p>	
<p>エゴノキ(白花)</p>		<p>リュウノヒゲ</p>	
<p>イロハモミジ</p>			